

<TOC思考プロセス>

“対立の解消” についてのご紹介

2014年3月 株式会社サクセス

TOC=Theory Of Constrains(制約条件の理論)

TOC(制約理論)は、物理学者のエリヤフ・ゴールドラット博士が、製造業における効率化、そして効率化の真の目的とは何か？という事をテーマに組み立てられた理論です。

ゴールドラット博士はトヨタ生産方式にとっても影響を受けており、トヨタ生産方式(JIT、カンバン)が実学だとすると、その精神や目的を、学者として理論として昇華したのがTOCと言えます。

TOC=Theory Of Constrains(制約条件の理論)

“ザ・ゴール”という書籍が有名で、読んだ方もいるかもしれません。



エリヤフ・ゴールドラット 著

TOC=Theory Of Constrains(制約条件の理論)

しかし、その理論は製造業の生産管理方法だけにとどまらず、**思考プロセス(問題に対しての考え方、解消の仕方)**へと広がりを持っており、
実はこちらの方がとても重要です。

詳しくは“ザ・ゴール2”という書籍でその内容が書かれておりますが、
今回は、その思考プロセスの中から
“対立(ジレンマ)の解消”についてご紹介します。



TOC=Theory Of Constrains(制約条件の理論)

しかし、その理論は製造業の生産管理方法だけにとどまらず、**思考プロセス(問題に対しての考え方、解消の仕方)**へと広がりを持っており、
実はこちらの方がとても重要です。

詳しくは“ザ・ゴール2”という書籍でその内容が書かれておりますが、
今回は、その思考プロセスの中から
“対立(ジレンマ)の解消”についてご紹介します。



が、ここまでなんだか小難しい話だったので、
実生活に即したサンプルでご紹介

(サンプル)とある家族におきた門限に関する問題



ある日、ムスメが友達の家で遊ぶ計画を立てたところ、遠方の友達だったためどうしても門限には帰れない事がわかりました。

もちろんお父さんは大反対。
さて、どう解決しましょうか？

(サンプル)とある家族におきた門限に関する問題

<娘>
門限までに帰れない



家庭の不和

<父>
門限を守る



(サンプル)とある家族におきた門限に関する問題



<娘>
門限までに帰れない

友達と仲良くしたい



明るい家族生活



娘の安全を守りたい



<父>
門限を守る



家庭の不和



(サンプル)とある家族におきた門限に関する問題



<娘>
門限までに帰れない

友達と仲良くしたい



明るい家族生活



娘の安全を守りたい



<父>
門限を守る



家庭の不和



友達の家まで、父親が迎えに行く

めでたしめでたし



めでたしめでたし



(お父さん) え？友達ってオトコなの？聞いてな、、
この問題の解消については、また別のお話で

対立の解消のために気をつけるポイント

ポイント①

共通の目的を掲げ、同じ方向を向く。

対立ではなく問題に対しての**共闘体制**を組み上げる。

よって、問題は対立を起こしているのではなくジレンマとして考えるべし

ポイント②

対立(ジレンマ)の原因(それぞれが何を目的にしているか)を
できるだけ明確にするべし

ポイント③

解消できない問題はないと心から信じるべし

ちなみに仕事に応用する場合

仕事において対立が起きる場合、
“いいゲームを作る事”が両者の目的に成る事が大半です。

ただ、“いいゲーム“の定義
(売れる、楽しい、予定通り提供できる等々)
が違うだけと考えると
相手が何を目的に、その発言しているのかというのを
探りやすくなるかなと思います。